

令和6年度 環境活動にかかる対比結果について

(kg-CO ₂)換算							
温室効果ガス排出量 (kg) 二酸化炭素(CO ₂)		H25 (基準値)	R5	R6	H25-R6比	前年比	目標
燃料の使用	ガソリン(自動車)	38,408.9	17,645.9	17,648.1	45.95%	100.01%	2030年度の温室効果ガス排出量を2013(H25)年度から52%削減
	灯油(ボイラー)	382,222.8	417,848.0	425,462.7	111.31%	101.82%	
	軽油(自動車)	26,351.2	30,004.4	35,020.0	132.90%	116.72%	
	A重油(定置式ディーゼル機関)	54,192.6	0.0	0.0	0.00%	-	
	液化石油ガス(LPG)+都市ガス	72,854.2	44,707.5	45,176.2	62.01%	101.05%	
電気事業者から供給された電気の使用		2,615,736.2	1,881,474.9	2,077,562.0	79.43%	110.42%	
小計		3,189,765.9	2,391,680.7	2,600,869.0	81.54%	108.75%	
温室効果ガス排出量 (kg) メタン(CH ₄)		H25 (基準値)	R5	R6	H25-R6比	前年比	
燃料の燃焼	家庭用機器の使用	1240.8	1,736.9	1,776.4	143.16%	102.27%	2030年度の温室効果ガス排出量を2013(H25)年度から52%削減
	自動車の走行	55.6	55.1	52.3	94.07%	94.92%	
小計		1,296.4	1,792.0	1,828.7	141.06%	102.05%	
温室効果ガス排出量 (kg) 一酸化二窒素(N ₂ O)		H25 (基準値)	R5	R6	H25-R6比	前年比	
燃料の燃焼	定置式機関(A重油)	387.9	0	0	-	-	
	家庭用機器の使用	1030.1	1116.8	967.9	93.96%	86.66%	
	自動車の走行	1946.8	1100.5	1078.9	55.42%	98.04%	
小計		3,364.8	2,217.3	2,046.8	60.83%	92.31%	

二酸化炭素排出量 (t) CO ₂	3,189.8	2,391.7	2,600.9
総排出量 (t) CO ₂ +CH ₄ +N ₂ O	3,194.4	2,395.7	2,604.7

職員が隨時実施する項目

(施設管理課)

- ① 節電を促す表示をスイッチ付近に行う。
- ② エアコンの基準温度管理を促す表示をスイッチ付近に行う。
- ③ 始業時間前使用禁止、終了時間30分前使用中止等、冷暖房機器等の使用を可能な限り控えるよう掲示により啓発する。
- ④ 終業時、給湯器の種火消火を掲示で啓発する。
- ⑤ 1 フロア 1 か所以上の資源分別箱（4 分別）を設置し、分別ルールを表示する。
- ⑥ 紙類のごみ箱を設置し、分別する。
- ⑦ 職員机上事務用パソコン及び事務端末のモニター及びハードディスクの自動電源切断設定をする。
- ⑧ 公用車における低公害車の導入を実施する。

(施設使用課)

- ① 不使用時のトイレや廊下等不要な照明は消灯する。
- ② 会議室を使用する場合は、会議直前点灯、終了後直ちに消灯する。又、不要な場所等は点灯しない。
- ③ 就業前、就業後は速やかに消灯する。
- ④ OA機器を使用しないときは電源を切る。
- ⑤ 室内温度を、原則、冷房時28°C程度、暖房時20°C程度に適切に管理する。
- ⑥ 会議室を使用するときは、使用担当者が温度管理を行う。
- ⑦ 夏季のクールビズと冬季のウォームビスを実施する。
- ⑧ 出張等で乗り合わせが可能である場合は、積極的に乗り合わせて移動を行う。
- ⑨ 始業時間前使用禁止、終了時間30分前使用中止等、冷暖房機器等の使用を可能な限り控える。
- ⑩ 湯のみ茶碗等食器等を洗うときは、洗い桶等を使用しまどめて洗うなど、工夫して節水する。
- ⑪ 庁内連絡は庁舎LAN上で伝達し、紙の使用を控える。
- ⑫ 資料等は両面印刷とし、用紙使用量を抑制する。
- ⑬ 裏紙、使用済み封筒の再利用を徹底する。